

年 組 名前:

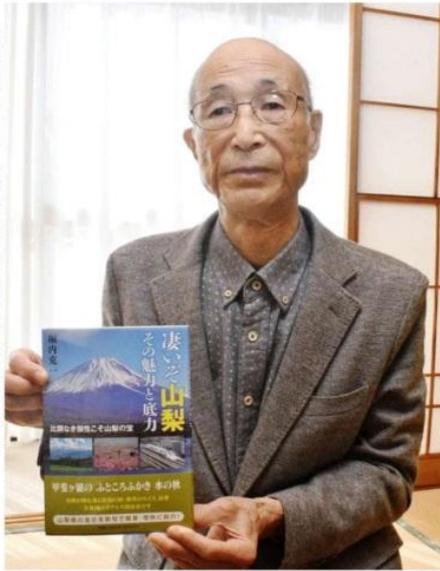
# 山梨の魅力 写真と俳句で

## 甲斐の堀内さん 書籍出版

甲斐市中下条の堀内克一さん(84)は、山梨県をPRした書籍「凄  
いぞ山梨 その魅力と底力」を自費出版した。県内の観光スポッ  
トや工芸品などを写真と自作の俳句を交えて紹介している。堀内さん  
は「県内外の人に読んでほしい、他県にはない山梨の魅力を知って  
もらいたい」と話している。

〈藤井駿伍〉

同市出身の堀内さんは大学卒業後、県内の芸術文化活動を支援す  
るNPO法人山梨メセナ協会や、  
集、施策の企画調整などに携わっ  
同市亀沢で棚田の再生などに取り



山梨県をPRする書籍を自費出版した堀内克一さん  
甲斐市中下条

## 観光名所や工芸品 紹介



組むNPO法人敷島棚田等農耕文  
化保存協会などでも活動してき  
た。  
県内では少子高齢化や人口減少  
が進んでいるが、今までの経験や  
知識を生かし、山梨の魅力をも  
外の人に伝えたいと考え、10年ほ  
ど前から出版に向け準備を進めて  
きた。  
同書ではテーマについて、富士  
山や水資源、名産品、産業など10  
に分類。「読んだ人が景色やもの  
を想像しやすいように」と、自ら  
撮影した景観や県内の自治体から  
借りた写真を載せ、写真にまつわ  
る俳句を添えている。  
果樹を取り上げたページでは、  
モモやブドウの写真とともに「出  
荷待つ 箱の香りや もも葡萄」  
などと紹介している。また、山梨  
県魅力を高めるため、「山梨を  
『アイデアの実験場』とし、人  
物、事に関する知的財産を県内に  
蓄積する取り組みをする」などと  
提言している。  
A5判カラー1223ページで、19  
80円。県内外の書店で販売して  
いる。堀内さんは「人口減少が著し  
いが、山梨の唯一無二の魅力が伝  
わることで定住促進や企業誘致、  
産業振興につながり、活性化して  
くれたらうれしく話している。

(2025年1月23日付 山梨日日新聞17面)

### 問1

甲斐市の堀内克一さんが、自費出版した山梨県をPRした書籍名を教えてください。

.....

### 問2

読んだ人が景色やものを想像しやすいようにするために、どのような工夫をしましたか。

.....

### 問3

堀内さんは、山梨の魅力を書籍で発信したことが、何につながればうれしいと話していますか。

.....